沿革

昭和49年　東京都の全員就学を受けて、東京都立青鳥養護学校杉並分校として東京都立農芸高校の仮設校舎（杉並区今川２-14-14）にて開校。小・中学部児童・生徒53名

昭和52年 12月　東京都立学校設置条例改正　東京都立中野養護学校開設（12月23日）
東京都立青鳥養護学校杉並分校内に開設事務所を置く。
初代校長　梅澤　雄一

昭和53年 ４月　東京都立中野養護学校開校（４月１日）
小学部12学級、中学部６学級、計18学級97名

昭和54年 １月　校舎竣工（１月16日　開校記念日とする）
敷地面積9721.26㎡　校舎面積9541.18㎡

４月　高等部設置

昭和56年 10月　作業室１室165㎡増築

昭和57年 11月　創立５周年記念事業　研究発表会、研究協議会開催、同窓会発足

昭和58年 １月　創立５周年記念事業　校歌制定、発表会（関ロトシ子作詞、元橋康男作曲）

昭和59年 １月　昭和56･57･58年度　東京都教育委員会研究指定心身障害児理解推進校公開研究発表
給食優良校で都表彰、優良子ども郵便局で表彰（郵政省）

昭和61年 ４月　二代校長　永倉　春男　着任

昭和63年 ２月　創立10周年祝う会、公開研究発表会、10周年記念事業

３月　軽量鉄骨校舎竣工476.46㎡

平成２年 ２月　よい歯の学校として連続４年表彰（東京都学校歯科医会）

平成４年 ４月　三代校長　永田　和重　着任
心身障害教育地域理解推進事業研究指定校

平成５年 １月　開校15周年記念　校内で祝う。

平成６年 ２月　「よい歯の学校表彰」を受ける。

平成７年 ４月　四代校長　岩谷　満佐男　着任

平成10年 １月　創立20周年記念式典、つどい並びに祝賀会開催

４月　五代校長　高橋　文禮　着任

平成11年 ４月　都立学校学校運営連絡協議会試行校指定、交流教育地域推進事業、養護学校
就業促進に関する調査研究協力校（いずれも第一年次）

平成12年 ４月　都立学校学校運営連絡協議会試行校指定、交流教育地域推進事業、養護学校
就業促進に関する調査研究協力校（第二年次）

平成13年 ４月　六代校長　山口　幸一郎　着任

平成14年 ４月　文部科学省の「盲・ろう・養護学校の専門性向上推進モデル事業」指定（第一年次、平成15年２月中間発表会開催）
自閉症教育のあり方に関する全校研修会（講演会13回）及び事例研究実施
ホームページ開始、校内LAN構築
PTAに余暇対策部を設置し、サタデークラブを月１回開催

平成15年 ４年　文部科学省「盲・ろう・養護学校の専門性向上推進モデル事業」指定（第２年次、平成16年２月全国発表会開催）
小学部１～４年・中学部１～２年各１学級自閉症仮学級設置
高等部２年生教育課程の類型化（コース制）実施
高等部３年生習熟度別学級設置学校センター化事業
「LD、ADHD、高機能自閉症への教育的対応」研修実施
保護者・教員による個別指導計画改善プロジェクト発足
学校センター化事業研の研修報告集「LD、ADHD、高機能自閉症への教育的対応」刊行

平成16年 ４月　小学部１～５年・中学部１～３年自閉症学級設置
高等部２・３年生教育課程の類型化（コース制）実施
文部科学省「平成16年度特別支援教育推進体制モデル事業」指定校
大学（外部専門家）連携研究プロジェクト発足
学校センター化事業地域支援研修実施

平成17年 ４月　七代校長　井上　正直　着任
東京都教育委員会「平成17年度知的障害養護学校における自閉症の児童・生徒の教育課程の開発・研究事業」指定校
東京都教育委員会「日本の伝統文化理解教育推進校」指定
大学（外部専門家）連携　研究・開発
全国発表会開催
学校センター化事業地域支援研修実施

平成18年 ４月　特別教室棟完成　通称「つつじ館」と決定
471.72㎡（竣工平成18年２月）
東京都教育委員会「平成18年度知的障害養護学校における自閉症の児童・生徒教育課程の開発・研究事業」指定校
東京都教育委員会「平成18年度知的障害養護学校普通科における職業教育の充に関する研究・開発事業」指定校
東京都教育委員会「平成18年度特別支援教育推進センターモデル校事業」指定校
東京都教育委員会「平成18年度都立養護学校における地域との連携による部活動振興実施校」指定校
東京都教育委員会「日本の伝統文化理解教育推進校」指定
大学（外部専門家）連携　研究・開発
全国発表会開催

平成19年 ４月 東京都教育委員会「平成19年度知的障害特別支援学校における自閉症の児童・生の教育課程の研究・開発事業」指定校
東京都教育委員会「平成19年度知的障害特別支援学校普通科における職業教育の充実に関する研究・開発事業」指定校
東京都教育委員会「平成19年度知的障害特別支援学校における地域との連携による部活動振興実施校」指定校
大学（外部専門家）連携　研究・開発
全国発表会開催（平成20年１月）

平成20年 １月 創立30周年記念式典開催
「自閉症教育に関する教育課程の研究」について東京都教育委員会表彰

４月 都立学校設置条例改正　東京都立中野特別支援学校開設
八代校長　鈴木　和彦　着任
東京都教育委員会 平成20年度教育課程の研究・開発事業推進校
「自閉症の児童・生徒で編成した学級の指導の研究・開発事業」協力校
「障害のある児童・生徒の自立と社会参加を目指した指導の研究･開発事業(キャリア教育推進委員会)」協力校
全国研究発表会（平成21年１月）

平成21年 ４月 小学部18学級67名、中学部12学級58名、高等部28学級177名、計58学級302名
東京都教育委員会 平成21年度教育課程の研究・開発事業推進校
「知的障害特別支援学校・キャリア教育重点校」重点支援校
全国公開授業研究協議会（平成22年１月）

平成22年 ４月 小学部17学級65名、中学部14学級65名、高等部30学級196名、計61学級326名
全国公開授業研究協議会（平成23年１月）

平成23年 ４月 小学部16学級62名、中学部14学級64名、高等部31学級207名、計61学級333名
中野の教育報告会（平成23年12月）

平成24年 ４月 九代校長　庄司　伸哉　着任
小学部16学級60名、中学部11学級51名、高等部30学級204名、計57学級315名
OJT推進指定モデル校
全国公開授業研究協議会（平成24年12月）

平成25年 ４月 小学部16学級56名、中学部13学級60名、高等部27学級181名、計56学級297名
高等部新標準服制定
OJT推進指定モデル校
全国公開授業研究協議会（平成25年12月）

平成26年 ４月 小学部17学級67名、中学部11学級50名、高等部25学級163名、計53学級280名
東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校体育連盟事務局
全国公開授業研究協議会（平成26年12月）

平成27年 ４月 十代校長　吉田　京子　着任
小学部16学級67名、中学部11学級49名、高等部24学級154名、計51学級270名
東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校体育連盟事務局
全国公開授業研究協議会（平成27年12月）

平成28年 ４月 小学部18学級74名、中学部８学級37名、高等部26学級169名、計52学級280名
「平成28年度都立特別支援学校における安全対策推進モデル事業」指定校
「平成28年度特別支援学校における宿泊防災訓練」指定校
全国公開授業研究協議会（平成28年12月）

平成29年 ４月 十一代校長　山賀　出穂　着任
小学部18学級87名、中学部10学級45名、高等部25学級152名、計54学級284名
「平成29年度障害のある児童・生徒への安全対策の推進事業」指定校
「平成29年度都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業」指定校
全国公開授業研究協議会（平成30年２月）

12月 創立40周年記念式典開催

平成30年 ４月 小学部22学級98名、中学部12学級51名、高等部21学級127名、計55学級276名
「特別支援学校におけるスポーツ教育推進」指定校
「平成30年度都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業」指定校
全国公開授業研究協議会（平成31年２月）

平成31年 ４月 小学部21学級101名、中学部12学級53名、高等部19学級120名、計52学級274名
「平成31年度　歯・口の健康づくり推進校事業」指定校
「特別支援学校におけるスポーツ教育推進」指定校
全国公開授業研究協議会（令和２年２月）

令和２年 ４月 十二代校長　和田　慎也　着任
小学部23学級109名、中学部12学級54名、高等部19学級124名、計54学級287名
「令和２年度　歯・口の健康づくり推進校事業」指定校
「東京都立中野特別支援学校教職員倫理要綱」策定

令和３年 ４月 小学部25学級113名、中学部12学級56名、高等部23学級146名、計60学級315名
「令和３年度　歯・口の健康づくり推進校事業」指定校
全日本学校歯科保健優良校表彰において「日本学校歯科医会会長賞」受賞
都立中学校・中等教育学校（前期課程）における特別支援教室の巡回指導教員CSV（センター的機能スーパーバイザー）３名が配置される。

令和４年 ４月 小学部27学級125名、中学部13学級63名、高等部23学級143名、計63学級331名
「都立学校発達障害教育推進エリアネットワーク」拠点校に指名され、CSVが６名体制になる。
東京都立しいの木特別支援学校閉校（令和６年度末）に伴い、令和７年度よりしいの木分教室（仮称）の運営の指定を受ける。

令和５年 ４月 小学部29学級132名、中学部15学級72名、高等部22学級140名、計66学級344名
都立小学校の特別支援教室の指導のためCSVが過員配置され７名体制となる。
「センター的機能による発達障害教育支援モデル事業」の推進校に指名され、中野区立小・中学校への重点支援を開始する。

令和６年 ４月　小学部30学級147名、中学部15学級74名、高等部21学級129名、計66学級350名

令和７年 ４月　本校舎（南台）改築に伴い、仮設校舎（東中野）に移転。愛称「さくら校舎」とする。
東京都立しいの木特別支援学校※閉校に伴い、しいの木分教室を設置し運営開始
【本校】小学部34学級171名、中学部16学級79名、高等部23学級147名、計73学級397名
【しいの木分教室】小学部１学級３名、中学部２学級２名、高等部２学級４名、計５学級９名

令和８年 ４月　十三代校長　伴　比佐志　着任
【本校】小学部39学級199名、中学部17学級88名、高等部23学級155名、計79学級442名
【しいの木分教室】小学部１学級３名、中学部１学級１名、高等部３学級５名、計５学級９名
組織改編に伴い、巡回指導教員（CSV）４名、インクルーシブ教育推進教員（ISV）２名が配置される。

※東京都立しいの木特別支援学校は、昭和44年５月に東京都立しいの木養護学校として開校、東京都千葉福祉園及び袖ケ浦のびろ学園を利用する児童・生徒の施設提携特別支援学校として運営されてきた。